

大牟田市立宮原中学校

1 本校のESDの特徴



本校は、学校教育目標「志を持ち自ら考え行動できる生徒の育成」を掲げグローバル人材の育成に努め、「大牟田版SDGs」の達成に向けた学習を行っている。校務分掌にESD推進部を位置づけ、地域連携コーディネーターを置き、地域の方々との連絡・調整を図っている。地域の「ひと・もの・こと」を教育課程と結び付け、様々な「つながり・かかわり」を大切にしながら、持続可能な社会をつくる生徒の育成をめざすとともに、社会に開かれた教育課程の理念をふまえ、学校教育全体を通して、Society 5.0で育みたい力の育成に努めている。

なお、国連のユネスコバンコク事務所が進める「HAPPY SCHOOL」に参加している。

2 ユネスコスクールとしての活動・全体計画

目 標 の 具 現 化 に 向 け た 実 践				地域・保護者の支援
総合的な学習の時間	1 年	2 年	3 年	○地域の「ひと・もの・こと」の活用 ・GTとしての活用 ・人材バンクづくり ・生涯学習課等との連携 ・地区公民館との連携 ・地域の職場の活用 ・公共施設の利用 (駛馬・勝立地区公民館、幼稚園、保育園等) ・世界遺産宮原坑 ・大牟田の伝統・文化 (炭鉱・大蛇山等の祭) 駛馬小学校・天の原小学校 玉川小学校・三池工業高校 有明工業高等専門学校連携
	〈福祉学習〉 1. 大牟田市の福祉の現状把握 2. 高齢者や認知症についての学習 (GTによる絵本教室・認知症学習など) 3. 特別支援学校との交流 〈キャリア学習〉 1. 職業調べ 2. 職業インタビュー 〈世界遺産学習〉 1. 世界文化遺産宮原坑見学 2. 世界遺産を守る活動 (市役所・地域の方々)	〈福祉学習〉 1. 高齢者とふれ合う職場体験学習 〈キャリア学習〉 1. 職業体験学習 2. 働く上で大切な心構えや意義等についてまとめ発表 〈世界遺産学習〉 1. 国内の世界遺産に関する学習 (価値・想い・参画・行動化) 2. 京都・奈良方面への修学旅行 の中に自主研修を位置付けて、各グループが立てた計画に基づき、国内の世界遺産に係る学習をすすめていく。	〈福祉学習〉 1. 思いやりの心と生命の尊さなどを考える乳幼児とのふれ合い保育体験活動 2. 乳幼児との関わりから学んだことを発表・発信 〈キャリア学習〉 1. 高校調べ 2. 進路実現に向けた学習 3. セルフプレゼンテーション 〈世界遺産学習〉 1. 海外の世界遺産に関する学習 (価値・想い・参画・行動化) 2. 世界遺産学習のまとめ	
	〈国際理解〉・ユニクロ服の力プロジェクトの取り組み 〈環境〉・地域清掃活動・ふれあいボランティアパスポート・ユネスコスクールと交流			
	・海外との交流			
	・はやめカップまつり ・宮原坑社宅DIYプロジェクト ・人情手巻き寿司 ・もちつき 等			
生徒会	・ほっとあんしんネットワーク模擬訓練 ・ヤマの祭典 ・そうめん流し ・勝立大蛇山			
ボランティア	・はやめカップまつり ・宮原坑社宅DIYプロジェクト ・人情手巻き寿司 ・もちつき 等			

3 特徴的な活動事例

(1) 世界遺産学習



【写真1】小中高連携での製作

校区に世界遺産「明治日本の産業革命遺産」の構成資産があり、1年生で大牟田の世界遺産、2年生で国内の世界遺産、3年生で海外の世界遺産について学習をしている。その際、世界遺産の価値を内面化させるために有効な「世界遺産についての学習」、保存や保全に対する態度や世界遺産を保護して、次世代に伝承しようとする当事者意識を育む「世界遺産のための学習」、世界遺産を窓口として国際理解教育、環境教育



【写真2】リニューアルした社宅
と作成したペーパーウェイト



【写真3】若い大仏ガイドの方



【写真4】ラジオ出演でPR



等へアプローチする「世界遺産を通した学習」を大切にしている。

「宮原白坑社宅再生D I Yプロジェクト」では、地域の方々とともに、駿馬小学校、宮原中学校、三池工業高校、有明工業高等専門学校の児童生徒が協力して、古い社宅の再生に取り組み、新たにショップとして、リニューアルした。本校生徒は、店内の机や椅子、ウェルカムボードなどを作成した。また、「ヤマの祭典」に参加し、三池工業高校の生徒が作成したモルタル塊をペーパーウェイトに加工して販売した。校区内にある小学校・中学校・高校の3つの異校種のユネスコスクールの連携から生まれた取組である。

2年生では、京都・奈良の世界遺産について研修を行った。奈良では、大仏のすばらしさを次世代に継承する若いガイドの方から当事者意識を学んだ。大牟田の世界遺産の伝承者には、高齢者の方が多いが、奈良では、若い世代の方々が大仏の良さを伝えていることに驚いていた。また、修学旅行ではエコバックを活用し、京都の環境保護への取組を実践した。

さらに、「世界遺産を通した学習」として、「服のチカラプロジェクト」に取り組んだ。アフリカのジンバブエのG Tから、世界遺産のある国で難民が多く生活に苦しんでいることを知り、自分たちにできることとして、子ども服の古着の回収を行った。新聞やラジオ等のメディアや地域の方々、小学校、地区公民館等の協力を得て、4000枚を超える古着を集めて、UNHCRを通してアフリカのコンゴへ送った。また、内戦の続くシリアからG Tを呼び、戦乱の生々しいリアルな体験談を聞き、平和へのメッセージをつくり、3年間の世界遺産学習のまとめとした。

こうした3つの窓口を通して、生徒の発達段階をふまえて、世界遺産学習のアプローチの枠を広げた。

(2) 福祉学習



本校区は、共生社会の構築に向けた「高齢者ケア」の先進地である。「誰もが安心して住めるまち」を目指した様々な取組やシステムが構築されており、全国から視察者が訪れている。「誰ひとり取り残さない」とのSDGsの理念にも合致しており、大牟田市版SDGsの重点項目となっている。本年度も地域の民生委員の方々のご協力のもと、「ひとり暮らしの高齢者宅訪問」を実施し、生徒が作成したカレンダーを持参して訪問し、交流を行った。

4 本年度の成果と課題

○成果

- ・小中高の異校種のユネスコスクールによる世界遺産学習の取組のスタート
- ・学校でのSDGs、ESDの取組から派生した「玉川校区SDGs・ESD推進協議会」の設立
- ・世界遺産を窓口として、複数のSDGsを組み合わせた学習の推進

○課題

- ・「資質・能力」の育成をふまえ9年を見通した小学校と連携した教育課程の研究。
- ・カリキュラムマネジメントの観点からストーリーマップ、SDGsマトリックス作成と体系化。

目 標 の 具 現 化 に 向 け た 実 践				地域・保護者の支援
	1 年	2 年	3 年	
総合的な学習の時間	＜福祉学習＞ 1．大牟田市の福祉の現状把握および概観 2．高齢者や認知症についての学習 （GTによる絵本教室・認知症学習など） 3．特別支援学校訪問および交流活動 4．様々な人々との関わりから学んだことの発表・発信。 ＜キャリア学習＞ 1．職業調べ 2．職業インタビュー ＜世界遺産学習＞ 1．世界文化遺産宮原坑見学 2．世界遺産を守る活動 （市役所・地域の方々と共に）	＜福祉学習＞ 1．高齢者とふれ合う老人保健施設等の訪問 2．地域の方々と共に実施する認知症SOS訓練 3．高齢者の方との関わりから学んだことを発表・発信。 ＜キャリア学習＞ 1．職業体験活動 2．農作物を種から仕入れ、販売・加工する活動をとおした、流通や販売業などの体験。 3．働く上で大切な心構えや意義等についてまとめ発表 ＜世界遺産学習＞ 1．国内の世界遺産に関する学習（価値・思い・参画・行動化） 2．三池港110周年記念事業への参加	＜福祉学習＞ 1．思いやりの心と生命の尊さなどを考える乳幼児とのふれ合い保育体験活動 2．乳幼児との関わりから学んだことを発表・発信 ＜キャリア学習＞ 1．高校調べ 2．進路実現に向けた学習（勉強の仕方、マナーについての学習） 3．セルフプレゼンテーション ＜世界遺産学習＞ 1．世界の世界遺産に関する学習（価値・思い・参画・行動化） 2．世界遺産学習のまとめ	○地域の「ひと・もの・こと」の活用 「ひと」 ・GTとしての活用 ・人材バンクづくり ・生涯学習課等との連携 ・地区公民館との連携 「もの」 ・地域の職場の活用 ・公共施設の活用（駛馬・勝立地区公民館、幼稚園、保育園等） ・世界遺産 「こと」 ・大牟田の伝統・文化（炭鉱・大蛇山等の祭）
	生徒会	＜国際理解＞・ユニクロ服のチカラプロジェクトの取り組み ＜環境＞・地域清掃活動 ・海外との交流 ・ふれあいボランティアパスポート・ユネスコスクールと交流		